

平成23年2月28日

建設リサイクルデータ 総合システム(CREDAS)の 記入ミスについて



上ノ国町 施設課

CREDAS(クレダス)の提出手順

■ 工事着手時

施工計画書に「再生資源利用計画書」と
「再生資源利用促進計画書」を添付する。

■ 工事完成時

「実施書」を作成し、監督員が確認した後に
提出成果品へ綴る。

電子データは別途監督員へ提出する。

「再生資源利用計画書」と 「再生資源利用促進計画書」の印刷

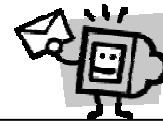
印刷はA-4横サイズとする

計画書と実施書のファイル作成

工事ID	計画書	実施書	年度	発注機関	工事名	工事種類
12	○	○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	町道勝山中須田線凍雪害防止工事	B-1 改良
13	○	○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	町道側溝整備その2工事	B-1 改良
14	○	○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	町道舗装補修その2工事(交付金)	B-2 舗装
15	○	○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	町道修繕工事	B-5 維持修
16	○	○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	普道河川はね川沿川防災工事	A-2 護岸
17	○		22	北海道 檜山郡 上ノ国町	町道 工事(交付金)	B-5 維持修
18		○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	町道 工事(交付金)	B-5 維持修
19	○	○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	町道小砂子中道線法面補修工事	M- 他公共
20	○	○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	町道舗装補修工事(交付金)	B-2 舗装
21	○	○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	町道道路照明修繕その1工事(交付金)	B-5 維持修
22	○	○	21	北海道 檜山郡 上ノ国町	庁舎カーテンウォール改修工事	O- 非木改
23	○	○	21	北海道 檜山郡 上ノ国町	石崎歯科診療所改修工事	O- 非木改
24	○	○	22	北海道 檜山郡 上ノ国町	特定環境保全公共下水道汚水管渠新設	H- 下水道

別々のファイルとしないで、計画書データ
ファイルに実施書データを追加する

データの提出方法



- 提出方法は電子メールを使用する

USBメモリー提出 ×

フロッピーディスク △

(メールが使用できない場合のみ可)



- ファイル名の付け方

「平成〇〇年度（工事名）.lzh」

好ましくないファイル名の例



× 再生資源lzh.lzh

↓
○ 平成22年度(〇〇〇〇工事).lzh

工事概要における まちがい

担当者名の間違い

The screenshot shows a form with the following fields:

- 発注機関: 北海道
- 発注機関 (詳細): その他(外郭団体含む)
- 担当者: 濱谷一治
- TEL: 139-55-2071

The '担当者' (Responsible Person) field is highlighted with a black box, and an arrow points from it to the explanatory text below.

× 濱谷一治(江差町長)



○ 担当者は監督員の名前とする

実施書の記入年月日の間違い

工事ID: 6 | 計画 | 実施 | 削除フラグ

概要 | 建設資材利用 | 建設副産物発生・搬出

発注者: 北海道 | 発注機関(詳細): 檜山郡 上ノ国町 | 担当者: | TEL: |

加盟団体名: | 会社名: | 会社名(カナ): | 代表者: | 代表者(カナ): | 建設業許可又は解体業許可: | 郵便番号: | 会社所在地: | TEL: | 工事責任者: | 調査票記入者: |

工事概要: 工事名: | 工事場所(地先等): | 工事種類: | 工期(開始)H. 5, 5, 13 ~ (終了)H. 5, 8, 31

建築・解体工事のみ入力: 建築面積: m² | 延床面積: m² | 階数(地上): 階

草刈工事の種類選択間違い

工事概要

工事名: 町道路肩草刈工事

工事場所: 北海道 檜山郡 上ノ国町 | 選択

工事種類: B-9 道路他 | 震災関係: |

工期(開始): B-9 橋梁 | 橋梁(道路) | 年 7 | 月 31

請負・自主: B-4 ずい道 | ずい道(道路) |

請負額: B-5 維持補修 | 維持補修(道路) |

請負額(万単位): B-6 共同溝 | 共同溝(道路) |

工事概要等: B-9 道路他 | その他(道路) |

施工条件: C-1 土地改良 | 土地改良、区画整理(農林) |

工事概要等: C-2 農道 | 農道(農林) |

施工条件: C-3 農林他 | 農林その他(農林) |

× B-9道路他 その他(道路)

↓

○ B-5維持補修 維持補修(道路)

側溝整備工事の種類選択間違い

× B-1改良 改良（道路）

○ B-5維持補修 維持補修（道路）

町道法面工事の種類選択間違い

× M- 他公共 その他の公共土木工事

○ B-5維持補修 維持補修（道路）

河川工事の種類選択間違い

工事概要	
工事名	普通河川 防災工事
工事場所	北海道 檜山郡 上ノ国町
(地先等)	
工事種類	A-2護岸
工期 (開始)	A-1 築堤
請負・自主	A-2 護岸
請負額 (万単位)	A-3 護岸
工事概要等	A-4 構築物
施工条件	A-5 ダム
	A-6 砂防
	A-7 河川他
	A-8 海岸

× A-2護岸 護岸 (河川)
 ↓
 ○ A-1築堤 築堤 (河川)

下水道工事の種類選択

工事概要	
工事名	特定環境保全公共下水道污水管新設 工事
工事場所	北海道 檜山郡 上ノ国町
(地先等)	字大留
工事種類	E- 上工水
工期 (開始)	E- 上工水
請負・自主	F- 土地造
請負額 (万単位)	G- 公園
工事概要等	H- 下水道
施工条件	I-1 空港
	I-2 港湾
	J- 鉄道軌
	K- 災害復

× E- 上工水 上・工水道関係工事
 ↓
 ○ B-5維持補修 維持補修 (道路)

自主施工を選択した間違い (2例あり)

工事概要	
工事名	町道 工事(交付金)
工事場所	北海道 檜山郡 上ノ国町
(地先等)	字中須田及び北村
工事種類	B-2舗装 震災関係
工期 (開始)	H.22 年11 月5 日 ~ (終了)
請負・自主施工	☐ 請負 ☒ 自主施工
請負額 (万単位)	1.87 0,000円(税込)

× 自主施工
↓
○ 請負

工事概要における 記入漏れ

請負・自主施工、 再資源化等完了年月日の記入漏れ

工事概要	
工事名	工事
工事場所	北海道 檜山郡 上ノ国町 選択
(地先等)	字大崎
工事種類	M- 他公共 震災関係
工期 (開始)	H.22 年 9 月 28 日 ~ (終了) H.22 年 12 月 22 日
請負・自主施工	☐ 請負 ☐ 自主施工
請負額 (万単位)	6,537,000円(税込)
再資源化費用 (万単位)	0,000円(税込)
再資源化等完了年月日	H. 年 月 日
工事概要等	
施工条件の内容	

工事場所の地先等及び 請負・自主施工の記入漏れ

工事概要	
工事名	町道
工事場所	北海道 檜山郡 上ノ国町 選択
(地先等)	
工事種類	B-5 維持修 震災関係
工期 (開始)	H.22 年 9 月 9 日 ~ (終了) H.22 年 10 月 20 日
請負・自主施工	☐ 請負 ☐ 自主施工
請負額 (万単位)	1,877,000円(税込)
工事概要等	除草37800m2、集草・積込運搬3590m2
施工条件の内容	

工事場所の地先等、 工事概要及び地下階数の記入漏れ

工事概要		建築・解体工事 のみ入力	
工事名	改修工事	建築面積	293 m ²
工事場所	北海道 檜山郡 上ノ国町	延床面積	481 m ²
〈地先等〉		階数(地上)	2 階
工事種類	改修工事	階数(地下)	1 階
工期 (開始) H. 21 年 11 月 20 日 ~ (終了) H. 22 年 2 月 19 日		構造	0
請負・自主施工	☒ 請負 ☐ 自主施工	用途	1
請負額 (万単位)	13.11 0,000円(税込)		2
工事概要等			3
施工条件の内容			4
			5
			6

建設資材利用状況 の記入

再生資材利用が無い場合(1)

工事概要 建設資材利用 建設副産物発生・搬出 建り法10条様式

コンクリート | コンクリート及び鉄 | 木材 | アスファルト混合物 | 土砂 | 砕石 | 塩化ビニル管・継手 | 石膏ボード | その他の建設資材

塩化ビニル管・継手

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)		
1ヵ所目	1 硬質 φ 150	1,220.0 (kg)	株式会社 高橋建材店 北海道 檜山郡 選択	1 現場内	1 再硬質	0.0 (kg)	0.0%	
2ヵ所目	1 硬質 φ 300	220.0 (kg)	株式会社 高橋建材店 北海道 檜山郡 選択	1 現場内	1 再硬質	0.0 (kg)	0.0%	
3ヵ所目	1 硬質 構	7.0 (kg)			1 再硬質	0.0 (kg)	0.0%	

再生資材の利用がないので、
記入は不要

再生資材利用が無い場合(2)

アスファルト混合物

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)		
1ヵ所目	7 安定 3 上層	58.4 (トン)	町道 北海道 北斗市 選択	6 他 七重浜8-3	2 指示なし 7 再安定	0.0 (トン)	0.0%	
2ヵ所目	3 細粒 1 表層	30.4 (トン)	町道 北海道 北斗市 選択	6 他 七重浜8-3	2 指示なし 3 再細粒	0.0 (トン)	0.0%	
3ヵ所目	3 細粒 4 歩道	1.5 (トン)	町道 北海道 北斗市 選択	6 他 七重浜8-3	2 指示なし 3 再細粒	0.0 (トン)	0.0%	

再生資材の利用がないので、
記入は不要

再生資材利用が無い場合(3)

工事概要 建設資材利用 | 建設副産物発生・搬出 |

コンクリート | コンクリート及び鉄 | 木材 | アスファルト混合物 | 土砂 | **砕石** | 塩化ビニル管・継手 | 石膏ボード | その他の建設資材 |

砕石

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	
規格							
1カ所目	1クラ 0~40mm	704.0 (m3)	(有) 檜山工業 北海道 檜山郡 選択		1 再クラ	0.0 (m3)	0.0%

再生資材の利用がないので、
記入は不要

生コンクリート利用の記入間違い

コンクリート

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	
規格							
1カ所目	8他	25	檜山生コンクリート 山郡 選択	1 現場内	7 他	0.0 (トン)	0.0%
	1 生コン(新) 生コン(バージン骨材) 2 再コン(H) 再生生コン(Co再生骨材H) 3 再コン(M) 再生生コン(Co再生骨材M) 4 再コン(L) 再生生コン(Co再生骨材L) 5 再コン(他) 再生生コン(その他のCo再生骨材) 6 再コン(外) 再生生コン(Co再生骨材以外の再生材) 7 無筋 無筋コンクリート二次製品 8 他 その他						

× 8. 他 その他

○ 1. 生コン 生コン (バージン骨材)

再生骨材コンクリートの利用

コンクリート							
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	
規 格							
1ヵ所目	8他 C-1	15.1 (トン)	町道 北海道 檜山郡 選択	6他 字大留122	2指示なし 7他	0.0 (トン)	0.0%
2ヵ所目	8他 C-4	14.2 (トン)	町道 北海道 檜山郡 選択	6他 字大留122	2指示なし 7他	0.0 (トン)	0.0%

現在、再生骨材を用いた生コンの利用は無いので、記入は不要

コンクリート二次製品の記入(1)

コンクリート							
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元	供給元種類	施工条件内容	再生資材	
規 格							
1ヵ所目	1生コン(新) C-1 C=4	38 (トン)	選択			(トン)	
2ヵ所目	7無筋 組立マンホール	21.6 (トン)	選択		6再無筋	0.0 (トン)	0.0%
3ヵ所目	7無筋 コンクリート平板	0.4 (トン)	選択		6再無筋	0.0 (トン)	0.0%
4ヵ所目	7無筋 歩車道縁石	0.5 (トン)	選択		6再無筋	0.0 (トン)	0.0%

組立マンホールはP Cなので、「コンクリート及び鉄からなる建設資材」に鉄筋コンクリートとして記入する

コンクリート二次製品の記入(2)

工事概要 建設資材利用 | 建設副産物発生・搬出 |

コンクリート | **コンクリート及び鉄** | 木材 | アスファルト混合物 | 土砂 | 砕石 | 塩化ビニル管・継手 | 石膏ボード | その他の建設資材 |

コンクリート及び鉄から成る建設資材

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	
1カ所目	2他 縁石止縁石	0.5 (トン)		選択	2他	0.0 (トン)	0.0%

鉄筋コンクリート二次製品を記入

縁石は、無筋なので「コンクリート」の
タブに記入する

その他の建設資材の記入(1)

コンクリート及び鉄から成る建設資材

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	
1カ所目	2他 かごマット	1.1 (トン)		選択	2他	0.0 (トン)	0.0%

鉄筋コンクリート二次製品を記入

かごマットは、「その他の建設資材」の
タブに記入する

その他の建設資材の記入(2)

コンクリート及び鉄から成る建設資材							
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源利用率
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	(B)/(A)*100
規格							
10カ所目	1有筋 1型B棟	1.3 (トン)	町道 北海道 檜山郡 選択	6他 宇大留122	2指示なし 1再有筋	0.0 (トン)	0.0%
11カ所目	1有筋 接続壁	0.4 (トン)	町道 北海道 檜山郡 選択	6他 宇大留122	2指示なし 1再有筋	0.0 (トン)	0.0%
12カ所目	2他 グレーチング	2.0 (トン)	町道 北海道 檜山郡 選択	6他 宇大留122	2指示なし 2他	0.0 (トン)	0.0%
13カ所目	2他 転落防止柵	1.0 (トン)	町道 北海道 檜山郡 選択	6他 宇大留122	2指示なし 2他	0.0 (トン)	0.0%
14カ所目	2他 視線誘導標	0.2 (トン)	町道 北海道 檜山郡 選択	6他 宇大留122	2指示なし 2他	0.0 (トン)	0.0%

「その他の建設資材」に記入する

路盤材の記入箇所を間違い

コンクリート及び鉄から成る建設資材							
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源利用率
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	(B)/(A)*100
規格							
1カ所目	2他 路盤材	56.2 (トン)	特定環境保全公共下水 北海道 檜山郡 選択	4再資源 東山	1指示あり 2他	56.2 (トン)	100.0%

鉄筋コンクリート二次製品を記入

路盤材は「碎石」のタブに記入する

アスファルト混合物の記入

アスファルト混合物								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)		
規格								
1ヵ所目	2密粒 再生20%	245.0 (トン)	町道 北海道 北斗市 選択	6他 七重浜8丁目	1指示あり 2再密粒	40.5 (トン)	16.5%	
2ヵ所目	7安定 再生20%	46.0 (トン)	町道 北海道 北斗市 選択	6他	1指示あり 1現場内 2他工(陸) 3他工(海) 4再資源 5スト 6他	7.4 (トン)	16.1%	

× 供給元に工事名を記入している



○ 前田道路(株) 供給元種類は「4.再資源化施設」

「再生資材の供給元施設、工事等の名称を全角で入力してください。」

再生アスファルト合材の利用率

アスファルト混合物								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)		
規格								
1ヵ所目	7安定 再生As安定処理	172.8 (トン)	特定環境保全公共下水 北海道 檜山郡 選択	4再資源	1指示あり 7再安定	172.8 (トン)	100.0%	
2ヵ所目	3細粒 細粒度As(車道)	110.4 (トン)	特定環境保全公共下水 北海道 檜山郡 選択	4再資源	1指示あり 3再細粒	110.4 (トン)	100.0%	
3ヵ所目	3細粒 細粒度As(歩道)	9.6 (トン)	特定環境保全公共下水 北海道 檜山郡 選択	4再資源	1指示あり 3再細粒	9.6 (トン)	100.0%	

再生アスファルト合材を使用しているので、
全量を再生資材の利用として、
100%の利用率としている例

再生資材利用量の考え方

アスファルト混合物

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	
1カ所目	2密粒 再生20%	2023 (トン)	町道舗装補修工事(交付) 北海道 北斗市 選択	6他 七重浜8丁目	1指示あり 2再生密粒	40.5 (トン)	20.0%
2カ所目	7安定 再生20%	36.8 (トン)	町道舗装補修工事(交付) 北海道 北斗市 選択	6他 七重浜8丁目	1指示あり 7再生安定	7.4 (トン)	20.1%

再生合材混合率が20%の再生アスファルトを使用



再生資源利用率が20%になるように利用量(B)を記入する。

「函館開発建設部と函館建設管理部も上記の様にしている例がほとんどです。」

アスコン利用が記入されていない

登録内容変更

工事ID: 4 計画 実施 削除フラグ

工事概要: 建設資材利用 | 建設副産物発生・搬出

コンクリート | コンクリート及び鉄 | 木材 | **アスファルト混合物** | 土砂 | 砕石 | 塩化ビニル管・継手 | 石膏ボード | その他の建設資材

アスファルト混合物

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	
1カ所目		(トン)	選択			(トン)	

舗装工事なので、必ずアスコンを利用しています。忘れずに記入してください

再生アスコン利用の良い記入例

アスファルト混合物								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材 利用量(B)		
規格			供給元の住所	(地先)	再生資材名称			
1カ所目	7安定 再生20%	1248 (トン)	道南土木 北海道 檜山郡 選択	4再資源	1指示あり	25.0 (トン)	20.0%	
2カ所目	3細粒 再生20%	749 (トン)	道南土木 北海道 檜山郡 選択	4再資源	1指示あり	15.0 (トン)	20.0%	

小分類	利用用途	利用量(A)
規格		
1カ所目	7安定 再生As安定処理	1728 (トン)
2カ所目	3細粒 細粒度As(車道)	110.4 (トン)
3カ所目	3細粒 細粒度As(歩道)	9.6 (トン)

土砂の供給元種類が疑わしい例

土砂								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材 利用量(B)		
規格			供給元の住所	(地先)	再生資材名称			
1カ所目	2二種 4裏込	19.0 (締めm3)	特定環境保全公共下水 北海道 檜山郡 選択	6他	2指示なし	19.0 (締めm3)	100.0%	

1 現場内	現場内利用
2 他工(陸)	他の工事現場(内陸)
3 他工(海)	他の工事現場(海面)
4 再資源	再資源化施設
5 スト	土砂ストックヤード
6 他	その他

現場内や他の工事、
又は土砂ストック
ヤードではない
か？
指示はないか？

土砂の利用用途が疑わしい例

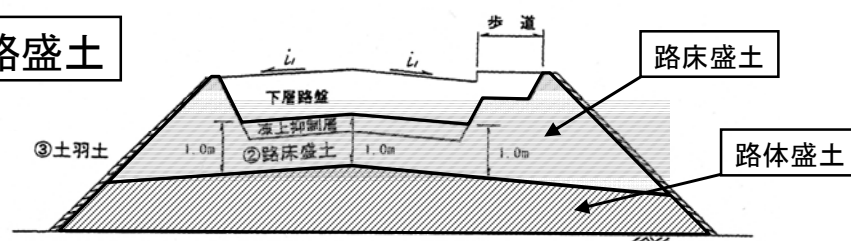
土砂							
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	再生資源 利用率 (B)/(A)*100
1カ所目	1.一種 1.路体	257.0 (縮めm3)	北海道 檜山郡	1 現場内	1.一種	257.0 (縮めm3)	100.0%
2カ所目	2.土羽盛土 1.路体	438.0 (縮めm3)				0.0 (縮めm3)	0.0%

※道路土工の場合の区分(注:河川土工は全部築堤盛土)

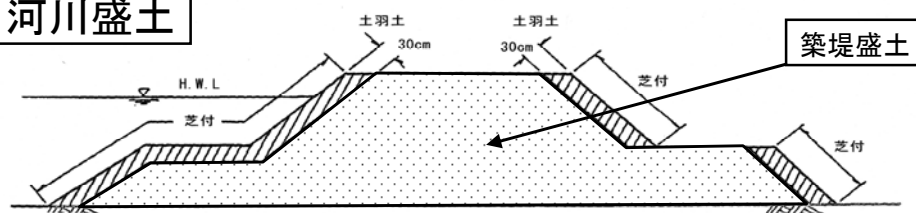
路体:下層路盤の下面から1m以下の部分
路床:下層路盤の下面から1m以内の部分

盛土の区分

道路盛土



河川盛土



流用土の選択

土砂								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源	
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	利用率 (B)/(A)*100	
規格								
1カ所目	1.一種	644.0 (縮めm3)	北海道 檜山郡 選択	1現場内	1指示あり 2指示なし	644.0	100.0%	

設計で再生材の利用の指示（流用土）
がある場合は
「1. 指示あり」を選択する

流用土が種別毎に記入された例

土砂								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源	
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	利用率 (B)/(A)*100	
規格								
1カ所目	2二種	1,970.0 (縮めm3)	普通河川神明沢川防 北海道 檜山郡 選択	1現場内	1指示あり	1,970.0 (縮めm3)	100.0%	
2カ所目	2二種	890.0 (縮めm3)	普通河川神明沢川防 北海道 檜山郡 選択	1現場内	1指示あり	890.0 (縮めm3)	100.0%	
3カ所目	2二種	630.0 (縮めm3)	普通河川神明沢川防 北海道 檜山郡 選択	1現場内	1指示あり	630.0 (縮めm3)	100.0%	

設計書の細目や規格の区分毎に流用土が記
入されていて、とても分かりやすい

土砂の小分類

小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の 供給元の
規 格			
1.一種	4.裏込	306.0	北村土捨て場
1.一種	第一種建設発生土		
2.二種	第二種建設発生土		
3.三種	第三種建設発生土		
4.四種	第四種建設発生土		
5.浚渫土	浚渫土		
6.改良	土質改良土		
7.汚泥処	建設汚泥処理土		
8.再砂	再生コンクリート砂		
9.採取土	山砂、山土などの新材(採取土、購入土)		

第一種:砂、礫及びこれらに準ずる物

第二種:砂質土、礫質土及びこれらに準ずる物

第三種:通常の施工性が確保される粘性土及びこれに準ずる物

第四種:粘性土及びこれに準ずる物(第三種を除く)

浚渫土:泥土(コーン指数200未満、含水比80%程度以上)

碎石の小分類の選択間違い(1)

建設資材(新材を含む)全体の利用状況			
小分類	利用用途	利用量(A)	
規 格			
1.カ所目	2.粒調	1.下層	122.0
	0~40		(m3)

× 2. 粒調 粒度調整碎石

○ 1. クラ クラッシャーラン

砕石の小分類の選択間違い(2)

砕石								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材 利用量(B)		
規 格			供給元の住所	(地先)	再生資材名称			
1カ所目	2粒調 RC再生骨材 0-40mm	20.0 (m3)	特定環境保全公共下水 北海道 檜山郡 選択	4.再資源	1.指示あり 2.再粒調	20.0 (m3)	100.0%	
2カ所目	2粒調 切込砕石 0-40mm	13.0 (m3)	(有)檜山工業 北海道 檜山郡 選択	6.他	1.指示あり 2.再粒調	13.0 (m3)	100.0%	

× 2. 粒調 粒度調整砕石
↓
○ 1. クラ クラッシャーラン

砕石の供給元の記入間違い

砕石								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の					
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材 利用量(B)		
規 格			供給元の住所	(地先)	再生資材名称			
1カ所目	1.クラ 0~40	72.8 (m3)	町道 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 北海道 檜山郡 選択	4.再資源				

× 砕石の供給元に工事名を記入している
↓
○ (有) 桧山工業 (地先) 字早瀬

砕石の供給元種類の選択間違い

砕石								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100	
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)		
規 格								
1カ所目	1.クラ	242.0	江差採石	4.再資源	1.指示あり	242.0	100.0%	
	再生材0-40mm	(m3)	北海道 檜山郡 選択		1.再クラ	(m3)		
2カ所目	1.クラ	138.0				0.0	0.0%	
	0-40mm	(m3)		選択	1.再クラ	(m3)		
3カ所目	1.クラ	2.0				0.0	0.0%	
	0-80mm	(m3)		選択	1.再クラ	(m3)		

× 江差採石

「4. 再資源化施設」

○ 江差採石工業（株） 「6. その他」

再生骨材の規格表示

砕石								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称			
規 格								
1カ所目	1.クラ	33.7	〈有〉檜山工業	4.再資源	1.指示あり			
	0-40mm	(m3)	北海道 檜山郡 選択	字早瀬	1.再クラ			

0～40mmの場合

再生クラッシャーラン

RC-40

アスファルト再生クラッシャーラン

ARC-40

砕石の供給元種類の正しい記入例

砕石				
左記のうち、再生資材の利用状況				再生資源 利用率 (B)/(A)*100
工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)	
有限会社 檜山工業	4.再資源 ▼	1.指示あり ▼	1.3	100.0%
北海道 檜山郡 選択		1.再クラ ▼	(m3)	
有限会社 檜山工業	4.再資源 ▼	1.指示あり ▼	144.2	100.0%
北海道 檜山郡 選択		1.再クラ ▼	(m3)	

砕石の利用用途の選択間違い

砕石				
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記の	
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称	供給元の住所
規格				
1ヵ所目	1.クラ ▼	1.下層 ▼	1.3	有限会社 檜山工業
	0~80		(m3)	北海道 檜山郡 選択
2ヵ所目	1.クラ ▼	2.上層 ▼	144.2	有限会社 檜山工業
	0~40		(m3)	北海道 檜山郡 選択

- × 0~80 1. 下層路盤 0~40 2. 上層路盤
 ○ 0~80 4. その他 0~40 1. 下層路盤

再生資材の利用が疑わしい例

塩化ビニル管・継手								
建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材		
規格			供給元の住所	(地先)	再生資材名称	利用量(B)		
1ヵ所目	1 硬質	10.0	(株)高橋建材店	6 他	2 指示なし	10.0	100.0%	
	リブ付Φ150	(kg)	北海道 檜山郡 選択		1 再硬質	(kg)		
2ヵ所目	1 硬質	10.0	(株)高橋建材店	6 他	2 指示なし	10.0	100.0%	
	VUΦ300, 200, 150	(kg)	北海道 檜山郡 選択		1 再硬質	(kg)		
3ヵ所目	1 硬質	1.0	(株)高橋建材店	6 他	2 指示なし	1.0	100.0%	
	リブ付可とう性MH継手	(kg)	北海道 檜山郡 選択		1 再硬質	(kg)		

再生資材の利用がない場合は、
記入は不要

再生資材の利用用途を確認

塩化ビニル管・継手

建設資材(新材を含む全体の利用状況)			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称	供給元種類	施工条件内容	再生資材 利用量(B)		
規 格			供給元の住所	(地先)	再生資材名称			
1カ所目	1.硬質	1,317.6				0.0	0.0%	
	150mm	(kg)		選択	1.再硬質	(kg)		
2カ所目	1.硬質	100				0.0	0.0%	
	100mm				1.再硬質	(kg)		
3カ所目	1.硬質	131.5				0.0	0.0%	
	200mm	(kg)		選択	硬質	(kg)		
4カ所目	1.硬質	274.0				0.0	0.0%	
	300mm	(kg)		選択	1.再硬質	(kg)		

利用用途が正しく記入されて
いるのかは監督員が確認する
こと

建設発生土受入地の 記入

発生土搬出先の記入間違い

第一種建設発生土

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用		減量化		④現場外 搬出量合計	⑤再生資源 利用促進量 (注1)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量 改良分	減量法	③減量化量			
997.0 (地山m3)	3埋戻 (地山m3)	260.0 (地山m3)	0.0 (地山m3)		737.0 (地山m3)	0.0 (地山m3)	26.1%

現場外搬出について

搬出先名称	区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	26.1%
搬出先1 北海道 稚内市 上ノ 選択	公共	1A指定	7.スト(未)	737.0	0.0

7.スト(未) ストックヤード(再利用先工事が未決定)
8.予定地 工事予定地
9.採取跡地 採石場・砂利採取跡地等復旧事業
10.最終覆土 廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
11.最終覆外 廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
12.受入(公) 建設発生土受入地(公共事業の土捨て場)
13.受入(農) 建設発生土受入地(農地受入)
14.受入(民) 建設発生土受入地(民間土捨て場・残土処分場)



町の土捨て場は、
12受入(公) 建設発生土受入地(公共事業の土捨て場)
を選択してください

町有残土置場の表記統一

現場外搬出について						
搬出先名称		区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外搬出量	改良分
搬出先場所(区市町村名)		搬出先場所(地先)	運搬距離			
搬出先1	町有地	1 公共	1 A 指定	12 受入(公)	310.0	0.0
	北海道 檜山郡 上ノ 選択		7 km		(地山)m3	(地山)m3

町有残土置場の名称



搬出先名称	場所（地先）
八幡野残土置場	字勝山
北村残土置場	字北村
石崎残土置場	字石崎
湯ノ岱残土置場	字湯ノ岱

建設副産物の搬出 の記入

コンクリート塊の搬出先種類の間違い

コンクリート塊

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用		減量化		④現場外 搬出量合計	⑤再生資源 利用促進量 (注1)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量	改良分	減量法			
95.0 (トン)	4他	0.0 (トン)	0.0 (トン)			95.0 (トン)	0.0 (トン)

現場外搬出について

搬出先名称	区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)	運搬距離			
搬出先1	(有)松山工業	2民間	1A指定	95.0	0.0
	北海道 檜山郡 上ノ 選択	字早瀬194番地の1	5 km		

3広域認定
 4中間合材
 5中間合外
 6サーマル
 7単純焼却
 8海面処分
 9内陸処分
 10他

広域認定制度による処理
 中間処理施設(合材プラント)
 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
 中間処理施設(サーマル/サイクル)
 中間処理施設(単純焼却)
 廃棄物最終処分場(海面処分場)
 廃棄物最終処分場(内陸処分場)
 その他の処分

× 10.他 その他の処分

○ 5.中間合外(合材プラント以外の再資源化施設)

古いバージョンで作成した事によるエラー

現場外搬出について

搬出先名称	区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)	運搬距離			
搬出先1	有限会社 松山工業	2民間	1A指定	12.7	0.0
	北海道 檜山郡 上ノ 選択	字早瀬194-14	6 km		

4中間合材
 5中間合外
 6サーマル
 7単純焼却
 8海面処分
 9内陸処分
 10他

中間処理施設(合材プラント)
 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
 中間処理施設(サーマル/サイクル)
 中間処理施設(単純焼却)
 廃棄物最終処分場(海面処分場)
 廃棄物最終処分場(内陸処分場)
 その他の処分

(旧)中間再生
 (旧)中間再生
 (旧)中間再生施設(焼却以外)+土質改良プラント

× (旧)中間再生

○ 5.中間合外(合材プラント以外の再資源化施設)

最新版は Ver2010.10.04

平成22年度 建設リサイクルデータ統合システム
CREDAS 入力システム

Ver.2010.10.04

アスコン塊の搬出先種類の間違い(1)

アスファルト・コンクリート塊

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用			減量化		④現場外 搬出量合計	⑤再生資源 利用促進量 (注1)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量	改良分	減量法	③減量化量			
326.6 (トン)						326.6 (トン)	326.6 (トン)	100.0%

現場外搬出について

搬出先1	搬出先名称		区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
	搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)					
	前田道路株式会社	2民間	2B指定	5中間合外	326.6	0.0	クリア
	北海道 北斗市 選択	村山142	60 km	3広域認定 4中間合材 5中間合外 6サマール 7単焼 8海面処分 9内陸処分 10他	広域認定制度による処理 中間処理施設(合材プラント) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール)		

× 5.中間合外(合材プラント以外の再資源化施設)

○ 4.中間合材(合材プラント再資源化施設)

アスコン塊の搬出先種類の間違い(2)

アスファルト・コンクリート塊

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用			減量化		④現場外 搬出量合計	⑤再生資源 利用促進量 (注1)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量	改良分	減量法	③減量化量			
535 (トン)						535 (トン)	0.0 (トン)	0.0%

現場外搬出について

搬出先1	搬出先名称		区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
	搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)					
	道南土木東山破砕プラント	2民間	2B指定	9内陸処分	535	0.0	クリア
	北海道 檜山郡 江差 選択	字東山	12 km	3広域認定 4中間合材 5中間合外 6サマール 7単焼 8海面処分 9内陸処分 10他	広域認定制度による処理 中間処理施設(合材プラント) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール) 中間処理施設(サマール)		

× 9.内陸処分 廃棄物最終処分場(内陸処分場)

○ 4.中間合材(合材プラント再資源化施設)

アスコン塊の搬出先種類の違い(3)

アスファルト・コンクリート塊

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用		減量化		④現場外 搬出量合計	⑤再生資源 利用促進量 (主1)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量 改良分	減量法	③減量化量			
193.2 (トン)					193.2 (トン)	193.2 (トン)	100.0%

現場外搬出について

搬出先1	搬出先名称	区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
	搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)	運搬距離			
	松山工業	2民間	1A指定	4中間合材	193.2	0.0
	北海道 檜山郡 上ノ 選択		3 km	3広域認定 4中間合材 5中間合外 6サーマル 7単焼焼却 8海面処分 9内陸処分 10他	広域認定制度による処理 中間処理施設(合材プラント) 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設) 中間処理施設(サーマル/サイクル) 中間処理施設(単焼焼却) 廃棄物最終処分場(海面処分場) 廃棄物最終処分場(内陸処分場) その他の処分	

× 4.中間合材(合材プラント再資源化施設)



○ 5.中間合外(合材プラント以外の再資源化施設)

その他がれき類の搬出先種類間違い

その他がれき類

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用		減量化		④現場外 搬出量合計	⑤再生資源 利用促進量 (主1)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量 改良分	減量法	③減量化量			
0.5 (トン)					0.5 (トン)	0.5 (トン)	100.0%

現場外搬出について

搬出先1	搬出先名称	区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
	搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)	運搬距離			
	株式会社シグマ	2民間		5中間合外	0.5	
	北海道 釧路市 乙部 選択		40 km	3広域認定 4中間合材 5中間合外 6サーマル 7単焼焼却 8海面処分 9内陸処分 10他	広域認定制度による処理 中間処理施設(合材プラント) 中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設) 中間処理施設(サーマル/サイクル) 中間処理施設(単焼焼却) 廃棄物最終処分場(海面処分場) 廃棄物最終処分場(内陸処分場) その他の処分	

× 5.中間合外(合材プラント以外の再資源化施設)



○ 9.内陸処分 廃棄物最終処分場(内陸処分場)

その他がれき類の搬出先名称間違い

その他がれき類							
①発生量 ①=②+③+④ (トン)	現場内利用		減量化		④現場外 搬出量合計 (トン)	⑤再生資源 利用促進率 (注1) (トン)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量	改良分	減量法			
29 (トン)					29 (トン)	0.0 (トン)	0.0%

現場外搬出について						
搬出先1	搬出先名称	区分	施工条件 運搬距離	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
	搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)				
	株式会社シグマ	2民間	1A指定	9内陸処分	29 (トン)	
	北海道 爾志郡 乙部 選択		27 km			

× 搬出先の住所を記入してしまった

○ (株)シグマ

金属くずの搬出先種類間違い(1)

金属くず							
①発生量 ①=②+③+④ (トン)	現場内利用		減量化		④現場外 搬出量合計 (トン)	⑤再生資源 利用促進率 (注1) (トン)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量	改良分	減量法			
0.8 (トン)					0.8 (トン)	0.0 (トン)	0.0%

現場外搬出について						
搬出先1	搬出先名称	区分	施工条件 運搬距離	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
	搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)				
	株式会社シグマ	2民間		10他	0.5 (トン)	クリア
	北海道 爾志郡 乙部 選択		40 km			削除
	株式会社シグマ	2民間		10他	0.3	クリア
	北海道 爾志郡 乙部 選択		40 km			

注1: ④のうち搬出先の種類コードが1～6の合計

3広域認定
4中間合材
5中間合外
6サマール
7単純焼却
8海面処分
9内陸処分
10他

広域認定制度による処理
中間処理施設(合材プラント)
中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
中間処理施設(サマールリサイクル)
中間処理施設(単純焼却)
廃棄物最終処分場(海面処分場)
廃棄物最終処分場(内陸処分場)
その他の処分

× 10.他 その他の処分

○ 9.内陸処分 廃棄物最終処分場(内陸処分場)

金属くずの搬出先種類間違い(2)

金属くず

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用		減量化		④現場外 搬出量合計	⑤再生資源 利用促進量 (主1)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量	改良分	減量法			
20 (トン)					20 (トン)	0.0	0.0%

現場外搬出について

搬出先名称 搬出先場所(区市町村名)	区分 搬出先場所(地先)	施工条件 運搬距離	搬出先の種類	④現場外 搬出量	
				搬出量	改良分
搬出先1 松山県厚志郡町松園13番1 北海道 檜山郡 厚志 選択	2 民間	1 A 指定 20 km	9 内陸処分	20	クリア
			3 広域認定 4 中間合外 5 中間合外 6 サーマル 7 単焼 8 海面処分 9 内陸処分 10 他	広域認定制度による処理 中間処理施設(合材プラント) 中間処理施設(合材プラント以外の専有処理施設) 中間処理施設(サーマルリサイクル) 中間処理施設(単焼焼却) 廃棄物最終処分場(海面処分場) 廃棄物最終処分場(内陸処分場) その他の処分	

× 搬出先の住所を記入

9.内陸処分

○ (株)松山資源リサイクル

5.中間合外

金属くずの搬出先が未記入

金属くず

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用		減量化		④現場外 搬出量合計	⑤再生資源 利用促進量 (主1)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量	改良分	減量法			
0.5 (トン)					0.5 (トン)	0.0	0.0%

現場外搬出について

搬出先名称 搬出先場所(区市町村名)	区分 搬出先場所(地先)	施工条件 運搬距離	搬出先の種類	④現場外 搬出量	
				搬出量	改良分
搬出先1 北海道 檜山郡 上ノ 選択	1 公共	1 A 指定 30 km	9 内陸処分	0.5	

× 搬出先の名称が未記入

9.内陸処分

○ 搬出先を記入し、対応した種類を選択すること

現場外搬出量がゼロの場合

第二種建設発生土

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用		減量化		④現場外 搬出量合計	⑤再生資源 利用促進率 (主1)	再生資源利用 促進率 (②+③+⑤)/① *100
	用途	②利用量	改良分	減量法			
3,490.0 (地山m3)	4他	3,490.0 (地山m3)	3,490.0 (地山m3)		0.0 (地山m3)	0.0 (地山m3)	100.0%

現場外搬出について						
搬出先1	搬出先名称	区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
	搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)	運搬距離			
搬出先1	普通河川神明/沢川防災工事 北海道 檜山郡 上ノ 選択	1公共	1A指定 1 km	7スト(未)	0.0 (地山m3)	0.0 (地山m3)

クリア 削除

× 現場外搬出がゼロで記入している

○ 記入は不要（クリアボタンで全消去する）

現場外搬出の施工条件を記入する

現場外搬出について						
搬出先1	搬出先名称	区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
	搬出先場所(区市町村名)	搬出先場所(地先)	運搬距離			
搬出先1	株式会社 佐々木総業 北海道 檜山郡 厚沢 選択	2民間	1A指定 2B指定 3自由	5中間合外	0.1	

クリア

× 施工条件が選択されていない

○ 1.A指定処分 2.B指定処分 から選択する

「その他の分別された廃棄物」 の内容が不明

搬出先名称		区分	施工条件	搬出先の種類	④現場外 搬出量	改良分
搬出先場所(区市町村名)		搬出先場所(地先)	運搬距離			
搬出先2	株式会社シグマ	2民間		5中間合外	0.1	
	北海道 爾志郡 乙部 選択		40 km		(トン)	
搬出先3	株式会社シグマ	2民間		5中間合外	0.1	
	北海道 爾志郡 乙部 選択		40 km		(トン)	
搬出先4	株式会社シグマ	2民間		5中間合外	0.0	
	北海道 爾志郡 乙部 選択		40 km		(トン)	

× 廃棄物が何なのか不明

○ 搬出先名称の後に内容を記入する
(株)シグマ △△△△

利用計画と搬出計画に整合性が取れていない

利用計画		土砂						
建設資材(新材を含む)全体の利用状況			左記のうち、再生資材の利用状況					再生資源 利用率 (B)/(A)*100
小分類	利用用途	利用量(A)	工事等の名称 供給元の住所	供給元種類 (地先)	施工条件内容 再生資材名称	再生資材 利用量(B)		
規格								
1カ所目	4裏込	384.0 (締めm3)		選択		0.0 (締めm3)		0.0%

エラーがあるため警告が表示されている

発生・搬出計画

概要 建設資材利用 建設副産物発生・搬出							計画	実施	削除フラグ
コンクリート塊	建設木材A	アスファルト・コンクリート塊	その他がれき類	建設木材B	建設汚泥				
廃塩化ビニル管・継手	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	アスベスト	その他の廃棄物	混合状態の			
第一種建設発生土	第二種建設発生土	第三種建設発生土	第四種建設発生土	浚渫土	建設発生土				

入力内容に警告がある項目があります

①発生量 ①=②+③+④	現場内利用	②利用量	
用途			
836.8 (地山m3)	埋戻し	194.0 (地山m3)	(地山m3)

エラーの原因

利用計画では採取土の記入だけであり現場内発生土の利用は記入されていないが、発生・搬出計画では発生土を埋戻しに194m³使用となっており整合性がとれていない。

建設廃棄物種類	処理施設名	搬出先の種類	定義
コンクリート塊	(有) 桜山工業	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
	(株) 道南土木	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
	(株) 北辰運輸	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
建設発生木材A	(株) 佐々木総業	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
アスファルト・コンクリート塊	(株) 道南土木	4. 中間合材	4. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント）
	前田道路（株）	4. 中間合材	4. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント）
	(有) 桜山工業	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
	(株) 北辰運輸	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
その他がれき類	(株) シグマ	9. 内陸処分	9. 廃棄物最終処分場（内陸処分場）
建設発生木材B	(株) 佐々木総業	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
金属くず	(株) 桜山資源リサイクル	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
	(株) シグマ	9. 内陸処分	9. 廃棄物最終処分場（内陸処分場）
廃プラスチック	(株) シグマ	9. 内陸処分	9. 廃棄物最終処分場（内陸処分場）
廃石膏ボード	(株) 北辰運輸	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
	(株) シグマ	5. 中間合外	5. 中間処理施設（再資源化処理：合材プラント以外）
紙くず	(株) シグマ		受入はしているが処理方法は不明なので、契約書で確認のこと
その他の廃棄物 （ゴムくず、 グラスウール、アスファルト ルーフィング）	(株) シグマ	9. 内陸処分	9. 廃棄物最終処分場（内陸処分場）

【近傍における建設廃棄物「搬出先の種類」一覧】

- CREDASの提出は100万円以上の工事全てとなっていますので、ご協力お願いします。
- データ記入後は監督員の確認をお願いします。

